



慶應義塾大学 (東京都)

別科・日本語研修課程では、初期の段階から、受講者が将来専門分野において研究を行う際に有用な日本語の運用能力を養成することを重視している。また、受講者の留学目的に合わせて、多様な学習段階・科目を用意している。

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

1) 特色と歴史

慶應義塾は、啓蒙思想家として歴史上名高い福澤諭吉によって1858年に創設された日本で最も古い歴史を誇る私学である。私学として最初の大学部が1890年に設けられ現在に至っている。1898年には幼稚舎が設置され、以来、小学校から大学までの一貫教育制度を拡充、発展させてきた。

慶應義塾は、大学とその他関連校により構成されており、伝統的に塾長が大学長を兼ねる。

学部名：

文学部、経済学部、法学部、商学部、医学部、理工学部、総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部、薬学部

大学院名：

文学研究科、経済学研究科、法学研究科、社会学研究科、商学研究科、医学研究科、理工学研究科、経営管理研究科、政策・メディア研究科、法務研究科、健康マネジメント研究科、薬学研究科、メディアデザイン研究科、システムデザイン・マネジメント研究科

2) 学生数 (2025年5月1日現在)

学部生：28,839名、大学院生：5,025名

3) 教員数 (非常勤含む) (2025年5月1日現在)

6,577名

② 国際交流の実績

- 1) 受入 外国人留学生在籍数 2,196名 (2025年5月1日現在)
- 2) 派遣 学生国外留学生数 426名 (2024年5月1日現在)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生 (日研生) の受入れ実績

2025年度	10名 (EJ 8名、DJ2名)
2024年度	11名 (EJ 10名、DJ1名)
2023年度	10名 (EJ 10名、DJ0名)

EJ: 大使館推薦

DJ: 大学推薦

④ 地域の特徴

三田は都心の港区にあり交通の便が良く活気がある。三田キャンパスは創立以来の歴史と伝統があり、落ち着いて勉学できる環境。

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

b) 主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

直接教授法による日本語教育を行っており、初級から上級まで多様な学習段階・コースが設けられているため、各学習者の必要や興味に応じてプログラムを組むことが可能である。専門分野との連携を重視しており、将来学習者が専門分野で研究を行う際に有用な日本語力を初期の段階から養成するよう配慮している。上級学習者向けには日本文化に関する知識を深めるための日本文化科目を設け、各学部・研究科の科目等履修も一部認めている。自由科目として国際センター設置の英語による講座も履修することができる。

③ 受入定員

180人 (内、日研生定員は、EJ10名程度、DJ3名程度)

④ 受講希望者の資格、条件等

高等学校卒業生ならびにこれと同等以上の資格があると認められる者。大学で専門分野の教育を受けている者、あるいは既に受けた者が望ましい。

⑤ 達成目標

本課程では、幅広い学習者に対応できるカリキュラムを提供しているため、大学における専門分野の能力が高く、日本語学習に対する強い動機を持つ学生であれば、入学時の日本語能力のレベル、過去の日本語学習経験の如何は問わない。

学習段階は1から9まで分かれている。学期の初めに実施される学習段階分けテストの結果によって、学習段階が決定する。それぞれの学習段階の対象者と目標は下記のとおりである。

<学習段階1~4>

初級学習者を対象とし、日常生活に必要な会話と読み書きができるような日本語力の獲得を目標とする。

<学習段階5~6>

中級学習者を対象とし、話し言葉・書き言葉の両面において一般的な日本語の表現・理解ができるような日本語力の獲得を目標とする。

<学習段階7～8>

一般的な日本語の表現・理解に十分な日本語能力を有する者を対象とし、大学の講義の聴講、教科書・参考書の読解、レポート・答案の作成等に必要な日本語力の獲得を目標とする。

<学習段階9>

高度な日本語力を有する者を対象とし、専門分野の講義の理解、口頭発表や討論、専門書の読解、論文作成等に必要とされる専門的な日本語力の獲得を目標とする。

⑥ 研修期間（在籍期間）

2026年9月上旬 ～ 2027年7月下旬
(2026年9月22日 ～ 2027年9月21日)

⑦ 奨学金支給期間

2026年10月 ～ 2027年7月

⑧ 研修・年間スケジュール

9月上旬：渡日

9月中旬：秋学期オリエンテーション

9月下旬：秋学期授業開始

1月下旬：秋学期学期末試験

3月下旬：春学期オリエンテーション

4月上旬：春学期授業開始

7月中旬：春学期学期末試験

7月下旬：帰国

※留学生支援団体による各種活動（随時）
ウェルカムパーティー、スピーチコンテスト、交流会、見学会、伝統文化紹介、日本語クラブ、バザー等

⑨ コースの修了要件

修了の要件は、1年以上在学して異なる二つの学習段階において各学期に合格し、合計14単位以上を修得することとする。
合格の要件は、各自の学習段階に合った総合科目、技能別科目、日本文化科目、特化コースセット科目を組み合わせ、1学期につき1週間に7科目7単位以上あるいは週14時間相当の科目を履修し、単位を修得することとする。修了要件を満たした者には修了証が授与される。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

基幹コースと特化コースに分かれている。日研生も一般の別科生と同じ授業を受講する。

<基幹コース>

別科・日本語研修課程の中心となるコース。

<特化コース>

書きことばを中心とする専門的な日本語の習得を目標として設けられたコース。

2) 研修・コース開設科目

I) 必須科目

総合科目・・・「読む・書く・聞く・話す」の四技能を総合的な活動を通して身に付ける科目。

技能別科目・・・「読む・書く・聞く・話す」の四技能をそれぞれに特化して身に付ける科目。

日本文化科目・・・日本の社会や文化に関する知識を深める科目。上級学習者を対象とする。

特化コースセット科目・・・特化コース専用の科目。

II) 選択科目

日本語による授業のほかに、自由科目として、国際センターに設置されている英語で行われる科目を履修することもできる。また、JLPT N2相当以上の学生には、学部・大学院開講の授業科目の一部を1学期に2科目4単位まで履修することが認められている。

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

なし

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

なし

⑪ 指導体制

指導体制（関係教員）の状況（2025年10月1日現在）

1) 専任教員

日本語・日本文化教育センター所長	安藤 広道
日本語・日本文化教育センター副所長	木村 義之
学習指導主任	大場 美穂子

2) 協力教員

専任教員	8名
非常勤講師	41名

3) 事務責任者

学生部事務長 寺島 博之

4) 個別指導の実施

各レベルにレベルコーディネーターを置き、個々の学生の学習指導・生活相談等に常に対応できるようにしている。また、学習指導主任による学生への指導・支援体制も整えられている。

■ 宿 舎

慶應義塾大学では、留学生のための宿舎を一部用意している。ただし、部屋数に限りがあり、希望者多数の場合は抽選となる。

家賃75,000円～110,000円程度、通学時間60分程度。

<過去3年間の日研生の宿舎入居状況>

日研生はほぼ、慶應義塾大学の宿舎または国際交流会館（公的宿舎）に入居している。

■ 修了生へのフォローアップ

毎学期終了後、別科事務局から修了生にアンケートを行い、進路状況の把握に努めている。進路は多様であるが、もっとも多いのは「母国で就職」、「日本の大学院に進学」、「日本で就職」の3つである。多くの別科修了生がそれぞれの専門分野で更なるキャリアアップを果たしている。

■ 問合せ先

<担当部署>

慶應義塾大学学生部国際交流支援グループ
(文部科学省(国費)奨学金留学生担当)
住所 〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
TEL +81-3-5427-1608 (直通)
FAX +81-3-5427-1638
E-mail ic-mext@adst.keio.ac.jp

<ウェブサイト>

慶應義塾大学国際センターホームページ：
<http://www.ic.keio.ac.jp/>

慶應義塾大学ホームページ：
<https://www.keio.ac.jp/ja/>

日本語・日本文化教育センターホームページ：
<http://www.cjs.keio.ac.jp/>